



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字ニュースinとくしま

Vol.49 2024.7

日本赤十字社徳島県支部

徳島市庄町三丁目12番地1

TEL.088-631-6000 FAX.088-631-6100

<https://www.jrc.or.jp/chapter/tokushima/>



●和倉小学校避難所で、被災者を診察する徳島県支部の医療救護班

令和6年能登半島地震災害 日本赤十字社の総力を挙げた救護活動を展開

本年1月1日に発生した能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。

今回の災害の特徴は、地震に加えて津波や火災、大雪による複合災害となり被害が激甚化したほか、長期にわたる断水や半島特有の地理的制約、道路の寸断なども救護活動のハードルとなりました。

多くの人々が一瞬にして日常を奪われ、避難生活を送る中、日本赤十字社では発災直後から、全社を挙げて組織的に切れ目のない救護活動を展開。全国にある支部を6つのブロックに分け、ブロック単位で、被災者に寄り添った切れ目のない支援活動を実施しました。

徳島県支部でも石川県支部の要請により、当支部独自開発

の「要支援者用段ボールベッド」やエコノミークラス症候群予防のための「弾性ストッキング」を搬送したのをはじめ、中国・四国ブロックの各県支部と連携し、医師や看護師等で構成される医療救護班を3班・28名、被災地の医療ニーズを把握して救護の活動調整を行う日赤災害医療コーディネイトチームを2班・6名、さらには被災者の心身の疲労や避難生活などによるストレス状態の軽減を図る「こころのケア」要員を5名派遣するなど、被災者の支援活動を全力で行いました。

いかなる状況下でも「いのちと健康、尊厳」を守るために、本県でも発生が懸念される南海トラフ巨大地震や近年頻発化する豪雨災害等に備え、これからも「いざに備えた活動を継続してまいります」。

日本赤十字社の主な活動状況

活動概況

[5月7日現在]

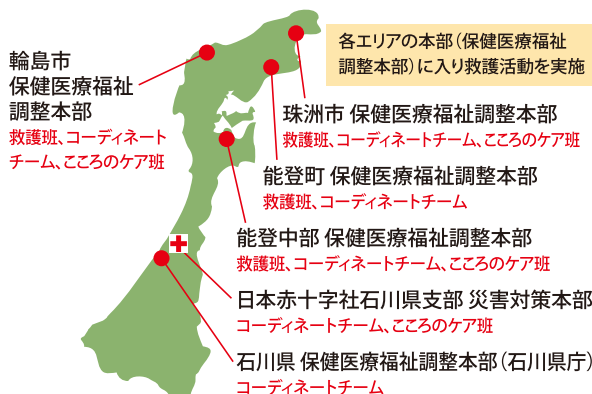
職員派遣

- 救護班 (DMAT含む)
延べ342班を派遣
- 日赤災害医療
コーディネイトチーム
延べ119チームを派遣
- こころのケア班 (調整班除く)
延べ44班を派遣
- 支部支援要員
68人を派遣

ボランティアの活動

- 赤十字ボランティア
延べ1,709人が活動
- 救援物資の配布
- 毛布 16,005枚
- 安眠セット 5,230セット
- 緊急セット 2,224セット
- その他
携帯型簡易トイレ3,400個等

日本赤十字社救護班等の活動場所



令和6年能登半島地震災害義援金

皆様の思いの詰まった義援金が多数寄せられました。心からお礼申し上げます。

- 日本赤十字社受付額 357億2,308万7,491円
(令和6年5月8日現在)
- 徳島県支部受付額 1億3,652万130円
(令和6年6月3日現在)

※義援金は、全額が被災地に届けられます。

能登半島地震避難所で初めて活用！—徳島県支部オリジナル段ボールベッド—

要所・細部に工夫を凝らした
赤十字徳島「オリジナル」段ボールベッド



珠洲市の避難所に設置された背もたれ付きオリジナル段ボールベッド

徳島県支部では、大規模災害に備え、特に支援が必要な「要配慮者」や「乳児」に特化したオリジナル段ボールベッドを、県内の全市町村(地区・分区)に配備しています。能登半島地震災害では、石川県珠洲市の避難所で、このベッドが初めて実際に活用されました。

●避難者の感想

避難所の床は毛布を敷いても冷たく、人が歩く振動が伝わってきてなかなか眠れなかったが、段ボールベッドだと寒さや振動などが緩和され、久しぶりにゆっくり眠れた。

●避難所運営者の感想

要介護の避難者に使用してもらったが、普段使っているベッドと同じように使用できるので、避難者の方も比較的快適に過ごせた。床に寝ている場合と比べ、介護もしやすいので、介護者からも好評であった。

令和6年能登半島地震の救護活動を振り返って

石川県内の被災地で救護活動を行った、日本赤十字社徳島県支部の救護員のコメントをご紹介します。



医療救護班の活動

日本赤十字社徳島県支部 医療救護班(第1班)
徳島赤十字病院 看護師長 鎌田 知巳



医療救護班第1班の看護師長として、石川県七尾市、志賀町で活動しました。現地は所々道路に亀裂や隆起が見られ、家屋は一部損壊し、屋根や壁がブルーシートで覆われ、全壊している家屋も見られました。発災から2週間が経過し、避難所のアセスメント(避難所の生活状況確認)、公衆衛生や生活環境改善支援(段ボールベッドの設置等)、巡回診療後に地元の医療に引き継ぐ支援、感染者の宿泊施設夜勤支援が主な活動内容でした。本来、避難所の現状をアセスメントして可視化し、情報共有して必要な支援を行うことが大切ですが、現場ではマンパワーが不足し、継続的な支援が必要だと感じました。また、被災されている方は疲弊していたため、今後はこころのケアが重要になるのではないかと思います。



●避難所を巡回し、血圧測定を行いながら避難者の健康確認を行う救護員(志賀町)



●石川県保健医療福祉調整本部で、関係機関と連携し活動を行う日赤災害医療コーディネーターチーム(石川県庁)



●避難所を訪問して、被災者のストレス軽減を図るこころのケア要員(志賀町)



●現地で支援にあたる自治体職員の心身のストレスを和らげる徳島県支部のこころのケア要員(輪島市)

日赤災害医療 コーディネーターチームの活動

日赤災害医療コーディネーター
徳島赤十字病院 救急科部長 福田 靖



今回、日赤石川県支部からの依頼で2度、日赤災害医療コーディネーターとして活動してきました。今回の日赤災害医療コーディネーターチームは医師1名、業務調整員(事務)2名の計3名で編成し、石川県庁に設置された石川県保健医療福祉調整本部で支援を行いました。大規模災害時は情報の不足により、被災地内での医療チームや災害支援物資の配分に偏りが生じることも少なくありません。これを少しでも解消するために保健医療福祉調整本部で医療情報をまとめて把握し、他のコーディネーターとともに医療資源の配分、収容先医療機関の確保、避難所などでの医療救護活動の統括・調整を行うことが必要であり、主に日赤救護班の活動調整、情報収集を担当しました。

こころのケア活動

日本赤十字社徳島県支部 こころのケア要員
徳島赤十字ひのみね医療療育センター 看護部長 隅田 優子



こころのケア要員として、被災者を支援する自治体職員や医療従事者等をサポートするために、輪島市で5日間活動させていただきました。横倒しになったビルや倒壊した家屋など、目の前にはテレビで見る光景が広がっており胸の詰まる思いでした。先の見えない復興状況の中、地震発生直後から自ら被災者でありながら支援を続けてきた方々に対してハンドケアやリラクゼーションを施す中、静かに眠られる方や「家に帰ると現実に戻り眠れなくなります」などの話をされる方もおり、支援者は様々なストレス状況にある事が伺えました。傾聴することしかできませんでしたが、翌日には「昨夜はひさしぶりに眠れましたよ」とお礼を言いに来て下さる方もおり、こころのケアの重要性を再認識することができました。

災害に備え、「自助・共助」の力を高めませんか？

過去の災害の教訓を踏まえ、近い将来に発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害から、人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることが重要です。日本赤十字社徳島県支部では、災害が発生したときに予想される

被害や避難生活などの課題を具体的にイメージしながら、いのちを守るさまざまな方法を地域で学ぶことができる「赤十字防災セミナー」を開催しています。「災害への備え」の防災講話をはじめ、自宅の危険な場所を確認する「家具安全対策ゲーム」、また避難者の目線で避難所生活の一部をイメージしたカードゲームを通して、避難所を疑似体験する「ひなんじょ たいけん」などを随時開催しています。



●鳴門市北灘町で開催した赤十字防災セミナー(ひなんじょ たいけん)の様子

●セミナーのご要望やお問い合わせ
日本赤十字社徳島県支部
事業推進課
(TEL:088-631-6000)まで

市民によるAEDの使用が認められ、今年で20年です！

国内でも非常に多い心臓突然死。日本で1日に約200人、7分に1人^{※1}が心臓突然死で亡くなっていると言われています。その原因の多くは心室細動(心臓のけいれん)によるもので、発生した場合は早期の心肺蘇生とAEDによる電気ショックが救命の鍵となります。

AEDは2004年7月に一般の人の使用が認められ、今年で20年となります。これまでの間に少なくとも8,000人^{※2}もの尊い命が、現場に居合わせた人のAEDによ

て救われています。

日本赤十字社徳島県支部でもAEDの一般の使用が認められた2004年から、県内の人が集まる公共施設等を中心に75台の赤十字AEDを設置し、これまでに2名の方が赤十字AEDで一命をとりとめています。

一般にAEDの使用が認められて20年の節目にあたり、今一度、身の回りのAEDの設置場所を確認したり、AEDの使用法を中心とした一次救命処置の講習を受けて、みんなで尊い命を守りましょう。



●当支部で開催している心肺蘇生とAEDの講習会



●地域に設置している赤十字AED。実際に尊い命が救われています

●講習のご要望やお問い合わせ
日本赤十字社徳島県支部
事業推進課
(TEL:088-631-6000)まで

※1 参照:日本AED財団「心臓突然死の現状」
※2 参照:総務省消防庁「令和5年版 救急救助の現況 救急編」



JRCベトナムメンバーと 徳島のメンバーが国際交流

令和5年11月18日～23日、青少年赤十字（JRC）国際交流事業で、ベトナムのJRCメンバー2名が徳島県支部を訪問。「持続可能な未来に向けた青少年赤十字活動」というテーマのもと、気候変動や防災、平和教育などについて、県内のJRCメンバーとの交流等を通して、学びを深めました。

ベトナムメンバーは、県内の幼稚園や小、中、高等学校の青少年赤十字加盟校を訪問。鳴門教育大学附属幼稚園では、徳島大空襲で焼け残ったブランコの一部

を見学し、「ベトナムも戦争によって多くの人が苦しんだ。二度とそのようなことが起きないことを願っている。」と心から平和を望んでいました。

また、鳴門教育大学附属中学校では、「気候変動」に関する授業に参加。地球温暖化が起こる仕組みや対策などについてクイズ形式で学んだほか、意見交換を行い、地球温暖化の原因を考えるだけでなく、その影響に備える「適応」について意識することの大切さを学んだ様子でした。



●ブランコ見学を通して平和を考える
(鳴門教育大学附属幼稚園)



●ベトナムメンバーと交流を図る小学生
(石井町浦庄小学校)



●気候変動について活発に意見交換
(鳴門教育大学附属中学校)



●校内の防災設備をクイズ形式で学ぶ
(富岡西高等学校)

赤十字運動月間に 「人道の灯り」ふ頭を照らす

本年5月8日～12日、徳島市万代中央ふ頭において「レッドライトアッププロジェクト」を開催しました。

このプロジェクトは、5月の赤十字運動月間(5月は日本赤十字社の創立月であり、創設者アンリー・デュナン(の生誕月)を中心に歴史的建造物や公共施設等を赤くライトアップすることにより、先人たちが歩んできた人道の歴史に思いをはせるとともに、赤十字活動への理解を深めていただくことを目的として全国一斉に実施しているものです。

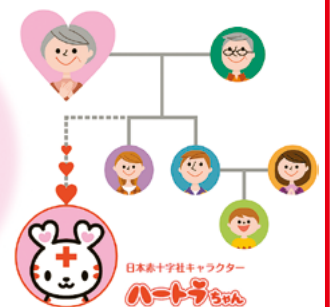
期間中、日没とともにふ頭内にあるアクアチッタパーク隣接の家具店「アクトス徳島店」壁面を幻想的に照らし、「人間を救うのは、人間だ」と書いた横断幕が浮かび上がりました。



赤十字でつなぐ わたしの思い

大切な方の思いや、
ご自身の意思を、
災害時の救護活動や地域の
防災活動、国際支援を通じて、
広く社会に生かすために

遺贈は、主人と私の
思いの結晶です。
困っている人のために
役立ててください。



遺 贈

遺言により、相続人以外の財産
の受取人として日本赤十字社
徳島県支部を指定できます

相続財産寄付

相続税の申告期限内にご寄付
いただいた財産は非課税とな
る優遇措置があります

ご相談はコチラまで

日本赤十字社徳島県支部
遺贈・相続寄付担当者まで
Tel.088-631-6000

心温まるご寄付に感謝

篠原石油株式会社様が、 お客様からの「ありがとう」で社会貢献

篠原石油株式会社様から、赤十字活動支援費として20万円をご寄付いただきました。

同社は2020年から、お客様の「ありがとう」の回数に応じた

寄付金贈呈等の社会貢献活動を継続して行っており、今回のご寄付は、「令和6年能登半島地震」を受けて、災害救護をはじめとする赤十字活動を支援しようと寄せられたものです。

1月12日に当支部で行われた贈呈式では、篠原崇史副社長と従業員代表の渡部龍様が、「従業員の総意で赤十字を支援することにしました。有効に活用してください。」と寄付金を大久保事務局次長に手渡しました。



赤十字活動支援費に ご協力をお願いします

迫り来る南海トラフ巨大地震に備えての災害救護体制の充実や、
豊かな心を育む青少年赤十字の育成は、皆様のご支援で行われております。

●下の振込用紙(振込手数料は無料、金額は任意)で、お近くの阿波銀行、徳島大正銀行の本店・全支店からお振込み可能です。
郵便局からのお振込みをご希望の方は、当支部事務局(Tel.088-631-6000)までご連絡ください。

キャッシュレス寄付!

振込以外でも、支援いただけます!



クレジットカード
Amazon Pay

＋赤十字活動支援費領収証

金 額	※			百万		千		円
取りまとめ店		阿波銀行 鮎喰支店						
		徳島大正銀行 加茂名支店						
受取人		日本赤十字社徳島県支部						
住所・氏名	ご依頼人	様						
取捨店		年 月 日						
		銀行 支店						
	(法人)	この領収証記載の金額は法人税法第37条第4項の規定に基づく寄付金に該当します。						
	(個人)	この領収証記載の金額は所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく特定寄付金に該当します。						

● (振込人)

＋振込ご案内

金 額	※			百万		千		円
取りまとめ店		阿波銀行 鮎喰支店						
		徳島大正銀行 加茂名支店						
受取人		日本赤十字社徳島県支部						
住所・氏名・連絡先	ご依頼人	〒 - (ふりがな)	様					
	(TEL: - -)							
赤十字寄付金用								
上記のとおり払込を取扱いましたからご通知いたします。								
年 月 日								
銀行 支店								
コード番号								

● (取りまとめ店→受取人)

＋普通預金入金票 赤十字寄付金

取及び口座番号	阿波銀行 鮎喰支店 (普) 0233304	年 月 日	検印					
金額	※			百万		千		円
受取人	徳島市庄町3丁目12-1 にほんせきじゅうじしゃとくしまけんしふ 日本赤十字社徳島県支部	現金						円
住所・氏名・連絡先	〒 - (ふりがな)	内	当店券					記帳
	(TEL: - -)	出納印						抜着

● (取扱店→取りまとめ店)



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社 スローガン

シャレン!で献血

徳島ヴォルティスVS.栃木SCの試合が行われた鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスウェットスタジアムで、献血キャンペーンを実施しました。

Jリーグでは「共に未来を創っていこう」を合言葉に「シャレン!」という社会貢献活動を実施しています。令和5年度からは深刻な若年層の献血者減少に歯止めをかけようと「シャレン!で献血」を始動。明治安田生命保険相互会社を含めた3者で連携し、徳島のシャレンを盛り上げています。

当日は、あいにくの天気ではありましたが、試合開始前から多くのサポーターでにぎわう会場で、学生ボランティアが献血への協力を呼びかけました。呼びかけには、元Jリーガーやけんけつちゃん、徳島ヴォルティス・明治安田生命のマスコットキャラクターも加わり大盛況となりました。

献血者には徳島ヴォルティスの選手サイン入り色紙がプレゼントされ、サイン色紙を手にしたサポーターからは、「推しの選手が当たりました!」等喜びの声が多数聞かれました。

受付総数50名を超える方に献血協力いただき、試合も徳島ヴォルティスが見事勝利となりました。



●献血を呼びかけた元Jリーガーや学生ボランティア、マスコットキャラクター

ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。

Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、

事前の問診回答などが可能になりました。

献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、接触機会の削減ができるので、安心して安全、より手軽に献血協力ができます。

スマホアプリ版が
はじまりました!



献血のWeb予約の受付時間が
献血時間の3時間前に
変更になりました!

※献血会場によっては当日予約ができない場合があります。

事前問診回答はご来場される
15分以上前までに済ませて
いただくようお願いいたします。



ラブラッドアプリは、
こちらからダウンロードください。



※ Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。※ App Store は Apple Inc. のサービスマークです。※ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

献血予約

Webサイト・アプリから献血予約が可能!
当日予約 (3時間前)※もできるので、お
近くの献血会場を選択して、手軽に献血
できます。

※献血会場によっては当日予約できない場合があります。



事前問診回答

これまで献血会場でしかできなかった
問診回答がWebサイト・アプリからで
できるようになりました。



血液検査の確認

ご自身の献血記録をいつでも確認する
ことができます。



会員特典

ご協力いただいた献血種類に応じて、献血
ポイントがたまります。また献血予約する
ことで予約ポイントも付与されます。それ
らはオリジナル記念品と交換が可能です。
その他、イベントやキャンペーン情報のご
案内や、便利な機能を多数備えています。



献血のご協力はコチラ

献血ルーム アミコ

●受付時間: 9:30~13:00
14:00~17:00
(成分献血は16:00まで)

※アミコ専門店の開店前及び休館時は
3Fシビックセンター広場入口か1F郵便局
横入口をご利用ください。

●定休日: 毎月第1・3火曜日

※悪天候時及び年末年始には臨時休業さ
せていただく場合がありますので、お問い合
わせください。

●住所: 徳島市元町1-24
アミコビル3F (JR徳島駅前)

●電話番号: 0120-688-950

●右の①~④の駐車場をご利用ください。
※献血に要した時間分のサービス券を
ご用意しております。



献血中も
TV視聴



Free-WiFi
あります



充実の
フリードリンク

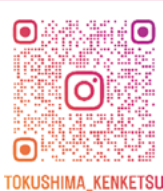
献血バス

●徳島県内を巡回中の献血バスで、
ご協力いただけます。

(400mL献血のみ)

●電話番号: 0120-688-994

●献血バスの日程は
徳島県赤十字血液センター
ホームページでご案内しています。



Instagram 始めました

献血の基準や献血スケジュール、
キャンペーン情報は
Instagramでも確認できます。

●日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します●

日本赤十字社徳島県支部事務局
徳島赤十字病院
徳島県赤十字血液センター

徳島市庄町三丁目12-1
小松島市小松島町字井利ノ口103番
徳島市庄町三丁目12-1

TEL.088-631-6000
TEL.0885-32-2555
TEL.088-631-3200

徳島赤十字ひのみね医療療育センター
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属支援施設
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院

小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903
小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903
小松島市中田町字新開2-2 TEL.0885-32-0555